

松本市市制施行
一一〇周年記念
松本市美術館
開館一五周年記念

彫刻家 細川宗英展

人間の存在の

2017年10月7日[土] ⇒ 11月26日[日]

月曜休館（ただし、祝日の場合は次の最初の平日）

Munehide Hosokawa, Sculptor The Beauty of Being Human

会場／松本市美術館 企画展示室 開館時間／9:00~17:00(入場は16:30まで)

観覧料／大人1,000円、大学高校生・70歳以上の松本市民600円 ※20名以上の団体は100円引き ※中学生以下無料、障害者手帳携帯者とその介助者1名無料

前売券／大人800円、大学高校生・70歳以上の松本市民400円(取扱いは2017年10月6日まで)

プレイガイド／松本市美術館、井上百貨店、こばやし画材、シナノ画房、手塚信古堂、ローソンチケット[Lコード35294]、セブンチケット[セブンコード057589]

リピーター割引／大人600円、大学高校生・70歳以上の松本市民300円 ※2回目以降の観覧料。要半券呈示。他の割引との併用不可

主催／松本市美術館

共催／一般財団法人 松本市芸術文化振興財団、信濃毎日新聞社、市民タイムス、松本平タウン情報、abn長野朝日放送

特別協力／諏訪市美術館

《王妃像 No.1》(部分)1984年 松本市美術館蔵



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

消滅しゆく 運命との たたかいは

人間の遺産をつくる芸術家の責任を、築くものと崩れ去って行くものの中で、私はもう一度考えたい。日本的なものへの回帰と、小さなものでもよいのだが、確かなるものを。

(細川宗英)



《橋を持つサントワール》1959年
諏訪市美術館蔵



《鳥がとまった》
1988年
諏訪市美術館蔵

相互割引のご案内 割引期間：10月7日(土)～11月26日(日)

長野県内では、松本市美術館・諏訪市美術館・美ヶ原高原美術館の3館で、細川宗英の作品を常設展示しています。本展開催中の機会に、細川彫刻に会いに出かけてみませんか。

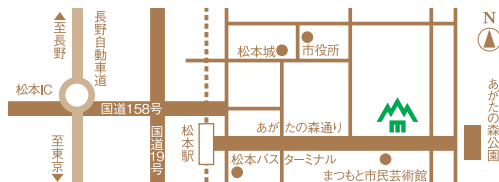
当館の「細川宗英展」観覧券の半券を諏訪市美術館・美ヶ原高原美術館の受付でご呈示いただくと、団体料金でご入場いただけます。また、両館の観覧券の半券を当館受付でご呈示いただくと、「細川宗英展」が団体料金でご入場いただけます。※諏訪市美術館と美ヶ原高原美術館の相互割引もあります。※いずれの館も他の割引との併用はできません。

- 諏訪市美術館 諏訪市湖岸通り4-1-14 TEL 0266-52-1217
休館日：月曜日、祝日の翌日、展示替え期間中
- 美ヶ原高原美術館 上田市武石上本入美ヶ原高原 TEL 0268-86-2331
休館日：無休、ただし11月6日(月)から冬季休館



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22 TEL 0263-39-7400
http://matsumoto-artmuse.jp



◎松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横信大循環線5分[松本市美術館]下車◎JR松本駅からタウンスニーカー(市内周遊バス)東コース14分[松本市美術館]下車◎JR松本駅から徒歩12分◎長野自動車道松本インターチェンジから車で15分

「彫刻とは何か」を己に問い続け、人間の存在を追求した細川宗英(一九三〇～一九九四年)の特別展を開催します。

細川宗英は松本市に生まれ、諏訪市で育ちました。東京藝術大学美術学部彫刻科専攻科在学中から新制作協会展に出品し、その才能は早くから注目されます。日本的なものへ回帰するイメージから生まれた「裝飾古墳」シリーズ、人間の内面を赤裸々にえぐり出す「男と女」「王と王妃」のシリーズ、鎌倉室町の頂相彫刻から想を得た「道元」、平安末期から鎌倉初期の絵巻『地獄草紙』『餓鬼草紙』による物語絵画を

彫刻化したシリーズなどを発表。風化しゆく人やモノの姿とおし、時間や歴史を超越して存在するもの、内に向かって削ぎ落としていくような造形を探索しました。

り…。細川が彫刻に込めたむき出しの美は、生あるものが消滅しゆく運命とのたたかいかいでもあるのです。

本展は、細川の初期から晩年までの作品(彫刻、デッサンなど)約90点をとおし、創作の変遷を辿ります。生きた証を残しおこうとする人間の執念、永遠なものへの祈



《男と女1972》(部分)1972年
諏訪市美術館蔵



《追われる餓鬼》1970年代
諏訪市美術館蔵

関連プログラム [申込先電話0263-39-7400]

■講演会「細川宗英の彫刻表現」

講師/樽井 美波(彫刻家・清泉女学院短期大学助教)
日時/10月28日(土)14:00～15:30
会場/多目的ホール
料金/無料
定員/80名
申込/10月6日(金)から美術館へ

■ワークショップ

① 大人のためのワークショップ 「 鋳造でつくる彫刻メダル 」

原型作りから型取り、鋳込みといった体験とおして細川作品の理解を深めます。仕上がったメダルはアクセサリなどにしてお持ち帰りできます。
講師/羽田 顕佑
(彫刻家・聖ヶ丘教育福祉専門学校専任教員)
日時/10月8日(日)10:00～16:00
会場/講座室・市民アトリエ
定員/一般20名(中学生以上可)
料金/2,500円
申込/9月6日(水)から美術館へ

② 高校生のためのワークショップ 高校生講座 「 2000年後の化石を発掘しよう! 」

インクとローラーを使って2000年後の未来から現代の私たちの生活を発掘します。発掘したものは、

美術館に展示。細川展プレ・ワークショップです。
講師/柴川 敏之(美術家・就実短期大学教授)
日時/10月1日(日)10:30～16:00
会場/講座室・市民アトリエ
定員/高校生30名
料金/無料
申込/9月6日(水)から美術館へ

③ 子どものためのワークショップ あそ美じゅつ 「 2000年後の絵手紙をつくろう! 」

今のモノをローラーでうつしとり、2000年後の「紙製の化石」をつくれます。そこに2000年後の人々へメッセージを書いてみよう!
講師/柴川 敏之(美術家・就実短期大学教授)
日時/11月12日(日)13:30～16:30
会場/講座室・市民アトリエ
定員/幼児～中学生30名(幼児の場合は保護者同伴)
料金/100円
申込/10月6日(金)から美術館へ

■学芸員によるギャラリートーク

日時/10月14日(土)・21日(土)、11月18日(土)
各日14:00～
料金/無料(ただし、当日有効の本展観覧券が必要)
定員/各日先着20名程度
申込/不要。企画展示室前に集合